

大妻中野中学高等学校 平成 30 年度学校経営計画重点課題

1. 「学力向上に向けて」

- (1) グローバル人材育成の取り組みの充実を下記の通り推進する。
 - ①2020 年の大学入試改革、指導要領改訂を見据え、知識習得から知識を知恵に変え自己実現できる力の育成を目指す。
 - ②21 世紀型のアクティブラーニング授業を、さらに本校独自に開発したシステムで展開する。生徒が「自ら学ぶ姿勢」を中心におき、全ての教員が同レベルの質の高い授業を実現できるようにする。
 - ③継続して、世界に通用する「実践的英語力」を目指した教育内容を深めると共に、その成果の検証から改善点を具体化する。
 - ④自らの意欲を高める仕組みとして、英語 4 技能向上において、目標値を設定して各種検定の取得を達成させる。
 - ⑤多様で質の高い授業展開を目指して、電子黒板・タブレットなどの I C T を充分活用した指導法を更に開発し、研修に力を注ぐ。
 - ⑥グローバルリーダーズクラスに課された教育プログラムを計画通りに推進し、達成目標値を遂行する。
- (2) 平成 30 年度中学入試における算数入学生受け入れの体制を充実させ、その一環としてプログラミング教育の準備、数学検定の目標値を設定し遂行していく。
- (3) 今年度は、さらに大学入試における生徒 1 人 1 人の進路実現の成功を、全学年横断態勢で共有協力し推進する。
 - ①大学入試改革に備えて十分に研究し、先進的で的確な進路指導を進める。受験生が未来社会で活躍できる進路実現のための対応策を作成する。
 - ②生徒 1 人 1 人の進路意識の向上の為に工夫を活発化させ、校内でその情報を共有しながらきめ細かい指導を行い、進路実現を確実なものへと導く。

2. 「生きる力育成に向けて」

- ①スーパーグローバルハイスクールの生徒像に求められる資質を全校で理解し、必要なスキルアップを確実に実践する。
- ②将来社会人として必要な生活の基本である「7つのルール」を徹底する。全教員による丁寧な対面教育を心がけ、全ての生徒が「あいさつ」「校内美化」「遅刻防止」の基本的生活習慣の基礎をしっかりと身につけ、学力と人間力が繋がることを目指して指導する。
- ③道徳教育、キャリア教育、ピア・サポート学習は教則にのっとり全校でベクトルを統一する。「豊かな心」を養い、自他共に誇りをもてる学校づくりを目指す。
- ④教育活動において「目標に向かって最後まで諦めずに努力する姿勢」を培える場面を

多様に配置する。

3. 「学校教育環境の整備と質向上に向けて」

- ①常に前進する学校としてハード、ソフト両面で教育環境革新を怠らず、校内で共有すると共に、学外に向けた発信を活性化させる。
- ②生徒の安全を守る為の防災・防犯体制の確認、検証を続ける。
- ③学校経営計画を策定し、学校評価を実施することを通して、学校の自律的な改善・改革と教育活動の質的向上を図る。
- ④「開かれた学校」を目指し、保護者、外部への情報公開を進めて、相互理解と連携を深める。
- ⑤組織的に広報発信と広聴に努め、地域懇談会を開いて地域との連携を深める。また、地域活動にも積極的に参加し、理解を深めることで本校の存在価値への支援を得る努力を積み重ねる。

4. 教育環境の充実

- ①スーパーグローバルハイスクールアソシエイト校としての5ヶ年計画
- ②校内照明 LED 化工事